

普及活動情勢報告（平成27年11月分）

中央西農業振興センター 高知農業改良普及所

米ナスのエコシステム栽培(天敵利用)始まる ～JA高知春野～



現地ほ場を見る生産者

10月22日に生産者4名の参加の下、JA高知春野の促成米ナスの現地検討会を行いました。これまでエコシステム（環境保全型農業）栽培に取り組むには当地区のナス栽培は天敵利用がネックとなっていました。しかし、天敵利用実証が成功し有利販売につながる見込みがあるので、この栽培への取り組みがスタートしました。

普及所は、天敵の準備ができています、これから天敵を導入する、後作栽培で導入するなど様々な生産者に現地巡回等を行い、天敵の利用方法についての助言・指導を行っていきます。

環境制御技術の勉強会の実施 ～収量アップを目指して～



会場内の炭酸ガスはアップ中

10月29日に14名の生産者が参加して、キュウリの環境制御技術の勉強会を行いました。JAからは炭酸ガス発生機の使用ポイントとして使用開始時期や炭酸ガス濃度等を、普及所からは光合成・温度管理・飽差等の説明をしました。参加者から「前夜半の適正な温度管理は?」「炭酸ガスを500ppmにすると?」という熱心な質問があり、「光合成産物の転流促進のためには温度を高める」、「炭酸ガス濃度の基本は400ppm」と説明しました。

普及所は今後もJAと連携して現地検討会等を行い、環境制御技術の確立に努めていきます。

消費者に選ばれるユリの産地 ～長浜のユリで摘蕾処理ほ場研修会～



処理後の蕾の状態を評価

JA高知市長浜支所花卉部会では、現在、摘蕾処理による「選ばれるユリ産地」を目指して部会活動に取り組んでいます。10月30日、摘蕾処理ほ場研修会を開催し、適正な摘蕾処理方法や時期を検討しました。普及所からは、摘蕾実証ほどの試験結果報告を行い、ボリュームアップ効果のある方法や時期について説明しました。

今後は、さらに細かく品種や摘蕾数について検討し、有利販売につながる摘蕾を推進していきます。

黄化えそ病対策を検討しています！ ～弱毒ウイルス接種試験～



ウイルスの感染を調査中

黄化えそ病対策として弱毒の黄化えそ病ウイルス(MYSV)を接種すると、後からは強毒ウイルスが感染しにくいと考えられています。普及所と高知県農業技術センター病理担当が連携してこの方法の効果の試験を行っています。

10月14、26日に植え付け前にキュウリ苗に接種した弱毒ウイルスがどれくらい感染しているかを調査しました。

今後も普及所は、農業技術センターと連携し、この対策方法の実用性を検討していきます。

明日を担う若い力、頑張れ！ ～農業大学校先進農家等留学研修～



研修生から感想の聞き取り

県立農業大学校の2年生は、現場で知識や技術、経営感覚を学ぶため県下各地で1カ月半程度の先進農家等留学研修を行っています。高知普及所管内では10月13日にJA高知春野で10名の受け入れ式が行われ、各農家に研修に入りました。

普及所と農業大学校は、研修期間中に受け入れ農家を巡回し、研修生の様子や研修生からの感想、受け入れ先農家からは研修への意見を聞き取っています。

今後も普及所は機会があるごとに研修先を訪れ、研修が無事に終了するよう支援するとともに、次年以降の研修がより良く実施できるよう受け入れ農家からの意見集約を行っていきます。

～他県の筍の生産・加工について学ぼう～ セツ瀧筍加工組合視察研修会



雨にも負けず栽培方法を質問

11月18日に、普及所と高知市との企画で、セツ瀧筍加工組合の組合員等24名が参加して、岡山県倉敷市にある真備筍生産組合へ視察研修を行いました。

真備筍生産組合での筍の栽培方法の説明や、加工場での筍の真空パック作業を見学しました。セツ瀧筍加工組合の組合員からは、それらの内容に多くの質問が出され、特に真空パック作業には関心が高く、熱心に質問がされました。

普及所では、今後もセツ瀧筍加工組合での筍・四方竹の生産や加工について支援し、中山間地域の活性化につなげていきます。

キュウリ産地維持に向けて就農希望者受け入れます！！



活発な意見交換中

11月18日、「JA高知春野キュウリ部会役員と指導農業士との意見交換会」を開催し、関係機関を含め27名が参加しました。

普及所からは8月の就農支援意見交換会で出た意見を受け、研修や就農の課題、各支援制度などの説明を行いました。参加者からは、担い手育成センター研修生への呼びかけや、短期研修受入、県外者向け住宅確保など、意欲ある就農者確保のための前向きな提案がされました。

キュウリ部会は、指導農業士を各地区複数名確保して研修受入をする目標をあげて、普及所は、今後も指導農業士の確保など受け入れ体制の強化に関係機関と連携し支援していきます。